

令和3年4月1日

水道凍結防止帯の絶縁劣化による火災

1 出火日時

2月〇〇日 午後4時〇〇分

2 火災概要

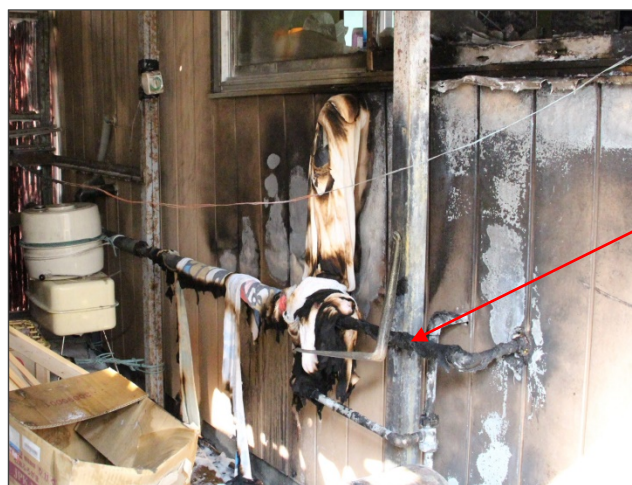
A宅の近所に居住するBは、外出先から帰宅し車から降りると、きな臭いにおいを感じた。周囲に異常がなかったため自宅に入ったが、においが継続したため窓を開け確認すると、A宅の倉庫から出てくる煙を発見した。BはA宅に知らせにいったが返事はなく、自宅に戻り119番通報した。Bが再度A宅に行くと物置から火が出ていた。

その後、集まってきた住民によりバケツリレーや消火器で初期消火が行われ、火は消し止められた。

当火災により、物置等 10 m²と外壁等が焼損した。

3 原因概要

水道管に設置していた水道凍結防止帯が、経年劣化による絶縁耐力低下から発熱し、ウレタン製の配管保温材及び配管保温材に巻き付けていたタオル等に着火し延焼したものの。



水道凍結防止帯が設置
されていた水道管

▲火災現場の状況

担 当：予防課
連絡先：0226-22-6693